



「よさに気付く」が「一步前へ」

教頭 宮城 隆之

残暑厳しい日が続いていましたが、ようやく暑さも一段落し、秋らしいさわやかな風が吹き抜けるようになってきました。9日からの2週に渡って実施しました個人懇談に対して、ご多用の中、貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございました。懇談でお聞かせいただいたお子様についての情報を学校全体で共有し、今後の指導・支援に生かしてまいります。

さて、4月の学校通信で、今年度の重点教育目標『よさに気付く 一歩前へ』をもとに、教育活動を進めていくことをお伝えしました。今回は、9月までに実施してきた教育活動の中から、紙面の許す限りご紹介いたします。



4年生は、総合的な学習の時間で「海のごみ問題」について学びを深めてきました。まず、函館市国際水産・海洋総合研究センターの方から海洋プラスチックごみ問題についてお話を伺いました。その後、湯浜町内会と協力して海岸清掃も行い、海が直面する課題を肌で感じました。こうした学習を通して深めた学びを伝えるため、7月24日には、学習の成果を発表する会と、作成したポスターの贈呈式を開催しました。参加した町会の方からはお褒めと感謝の言葉をいただき、「子どもたち自身が自分の存在

が認められ、必要とされている」と感じることができました。



1年生は、9月9日、函館養護学校との交流会を行いました。駒場小学校区内に住む児童と養護学校の先生を学校に招き、みんなで音楽の授業を楽しみました。自分から積極的に交流しようとする1年生の姿を見て、子どもたちが相手の個性を認め、寄り添う気持ちを育んでいることを実感しました。

たった2つしかご紹介できませんでしたが、他の学年においても、重点教育目標を意識した活動が様々に実施されています。すでに始まっている学習発表会に向けての取組も、自他のよさや地域のよさにより気付けるよう進めてまいります。

PTAこまばまつり開催

8月28日（木）放課後に、駒場小学校PTA主催の「こまばまつり」が開かれました。PTA総務部員とボランティアスタッフが趣向を凝らした出店を企画運営し、子どもたちはワクワクドキドキでお祭りを楽しみました。

